

~~~~~  
学 会 消 息  
~~~~~

(2023年1月～12月)

○総 会

日 時 5月24日(水) 教授会終了後
場 所 商学部会議室(C棟6階)
議 題 2022年度事業経過報告・決算報告
2023年度事業計画・予算案
その他

○講 演 会(商学部・商学会共催)

日 時 6月1日(木) 10時40分～12時10分
場 所 第2学舎4号館F棟 F403教室
講 師 内藤 純一氏(全信組連・全信中協 理事長)
テーマ 「3大金融危機から得た教訓」

日 時 6月1日(木) 10時40分～12時10分
場 所 第2学舎1号館A棟 A501教室
講 師 岡田 昌治氏(九州大学 教授)
テーマ 「日本とユネスコ・ソーシャル・ビジネス」

日 時 6月13日(火) 10時40分～12時10分
場 所 第2学舎2号館C棟 C403教室
講 師 西岡 洋氏(日本航空株式会社 西日本支社 産業連携室マネジャー)
テーマ 「航空業界の現状と将来」

日 時 10月13日(金) 13時00分～14時30分
場 所 第2学舎2号館C棟 C304教室
講 師 南村 忠敬氏(第一住建株式会社 代表取締役社長)
テーマ 「放置空き家の解消に向けた取組みの現状と課題 ―産学官の連携が生み出すリサイクルの新価値を考える―」

日 時 10月17日(火) 10時40分～12時10分
場 所 第2学舎1号館A棟 A501教室
講 師 原口 瑛子氏(ボーダレス・ブルキナファソ代表取締役社長)
テーマ 「世界の貧困をなくしたい ～ソーシャルビジネスへの再構築～」

○大学院 商学研究科TASプログラム特別セミナー(商学会後援)

日 時 12月13日(水)
場 所 第2学舎 B401教室
講 師 岡村 忠生氏(京都大学名誉教授)
テーマ 「タックス・ミックスと二重課税」

〈著 書〉

- 佐伯靖雄 『アメリカ産業イノベーション論』(共著) 晃洋書房, 4月刊。
- 高屋定美 『欧州グリーンディールとEU経済の復興』(共編著) 文眞堂, 2月刊。
- 馬場英朗 『インパクト評価と価値創造経営—SDGs・ESG時代におけるサステナブルな価値創造の好循環をめざして』(共編著) 第一法規, 10月刊。
- 深澤光樹 『貿易入門』(第2版)(共著) 大月書店, 3月刊。
- 『経済大国インドの機会と挑戦: グローバル・バリューチェーンと自立を志向するインドの産業発展』(共著) 白桃書房, 10月刊。

〈分担執筆〉

- 太田浩司 「財務諸表と財務分析」榊原茂樹・新井富雄・太田浩司・山崎尚志・山田和郎・月岡靖智著『新・現代の財務管理』第3章, 有斐閣アルマ, 37-63ページ, 7月刊。
- 「合併・買収と企業再編」同上書, 第14章, 有斐閣アルマ, 246-267ページ。
- 「行動ファイナンス」同上書, 第15章, 有斐閣アルマ, 268-284ページ。
- 「財務ケース分析」Case 1 & 2, 同上書, 補章, 有斐閣アルマ, 310-321ページ。
- 奥和義 「国際経済論を学ぶ」奥和義・内藤友紀編著『国際経済論』序章, ミネルヴァ書房, 1-5ページ。
- 「伝統的貿易理論」同上書, 第1章, ミネルヴァ書房, 9-38ページ。
- 「新しい貿易理論」同上書, 第2章, ミネルヴァ書房, 39-68ページ。
- 「EU」同上書, 第10章, ミネルヴァ書房, 243-272ページ。
- 「日本」同上書, 第12章, ミネルヴァ書房, 295-324ページ。
- 「21世紀の国際経済と未来」同上書, 終章, ミネルヴァ書房, 325-341ページ。
- 陰山孔貴 「ビジネスのマネジメントを知る」「よくわかる現代経営」編集委員会編著『よくわかる現代経営 [第7版]』第Ⅲ章, ミネルヴァ書房, 44-57ページ, 3月刊。
- 片岡進 「現代経営とは」「よくわかる現代経営」編集委員会編『よくわかる現代経営 [第7版]』序章第4~6節, ミネルヴァ書房, 8-15ページ, 3月刊。
- 「コーポレート・ガバナンスを知る」同上書, 第2章, ミネルヴァ書房, 30-43ページ, 3月刊。
- 木村麻子 「トピックモデルを用いたサステナビリティ情報開示の傾向」(北田皓嗣) 中尾悠利子・石野亜耶・國部克彦著『AIによるESG評価—モデル構築と情報開示分析—』第11章, 同文館出版, 157-179ページ, 10月刊。
- “Turning an ESG Agenda into Action through New Product Development : The Roles of Sustainability Management Control Systems in a Japanese Manufacturer” (co-authored) *Financial and Technological Innovation for Sustainability Environmental, Social and Governance Performance*, Routledge, pp. 19, November.
- 佐伯靖雄 「自動車産業」宮田由紀夫・安田聡子編『アメリカ産業イノベーション論』第7章, 晃洋書房, 108-126ページ, 4月刊。
- 清水涼子 「公認会計士の職業倫理 (1)」「公認会計士の職業倫理 (2)」「公認会計士の職業倫理 (3)」会計大学院「職業倫理」研究会著, 『標準テキスト 会計専門職の職業倫理』第9章~第11章, 同文館出版, 165~218ページ, 9月刊。

〈分担執筆〉

- 清水涼子 「第3章 ゲーミング事業者のリスクマネジメント」清水涼子・北波道子・三島徹也・Ron Singleton・T. Nakamura著『カジノ・ゲーミング事業をめぐるガバナンスの研究』関西大学出版部, 105~162ページ, 10月刊。
- 高屋定美 「欧州グリーンディールと金融機関の役割」アジア太平洋研究所研究資料, 23-04, 55-71ページ, 3月刊。
「欧州経済のリスクとEU経済戦略」小川英治編著『ポストコロナの世界経済—グローバルリスクの構造変化』第5章, 東京大学出版会, 133-170ページ, 8月刊。
「エネルギー危機下のEU・欧州経済」『関西経済白書2023 アジア太平洋と関西』第1章第2節, アジア太平洋研究所, 22-30ページ, 10月刊。
- 徳永昌弘 「『シベリアの真珠』バイカル湖」服部倫卓・吉田睦編著『ロシア極東・シベリアを知るための69章』第2章, 明石書店, 20-24ページ, 12月刊。
「『シベリアの呪い』とは何か?」同上書, コラム2, 明石書店, 243-246ページ。
- 西村成弘 「大阪の企業家と発明活動—大正・昭和初期の特許分析—」近代関西経済の発展とアジア・アフリカの国際関係史研究班『アジアにおける関西経済の発展：関西経済と近代アジア経済との密接な関係の歴史』（研究双書第178冊）, 関西大学経済・政治研究所, 21-49ページ, 3月刊。
「知的財産制度とITサービス産業」河音琢郎・豊福裕二・野口義直・平野健編著『21世紀のアメリカ資本主義—グローバル蓄積構造の変容—』第12章, 大月書店, 211-226ページ, 3月刊。
「企業の歴史を知る」「よくわかる現代経営」編集委員会『よくわかる現代経営 [第7版]』第1章, ミネルヴァ書房, 16-29ページ, 3月刊。
- 馬場英朗 「企業会計と社会的インパクト—インパクト加重会計の可能性」塚本一郎・関正雄・馬場英朗編著『インパクト評価と価値創造経営—SDGs・ESG時代におけるサステナブルな価値創造の好循環をめざして』第8章, 第一法規, 182-200ページ, 10月刊。
- 原拓志 “Establishing the Kobe-Style of Management Studies: Three Big Captains” (co-authored) *A Pioneer of Management Research and Education in Japan*, Springer, pp. 77-101, May.
- 深澤光樹 「多国籍企業と直接投資」小林尚朗・篠原敏彦・所康弘編著『貿易入門』（第2版）第9章, 大月書店, 160-175ページ, 3月刊。
「南アジア諸国と中国の政治経済関係」佐藤隆広編著『経済大国インドの機会と挑戦：グローバル・バリューチェーンと自立を志向するインドの産業発展』第2章, 白桃書房, 39-68ページ, 10月刊。
- 藤岡里圭 “Retailing After the Industrial Revolution: Innovation, Growth, and New Format Development”, (co-authored) Matthias Kipping, Takafumi Kurosawa, Eleanor Westney (eds.) *The Oxford Handbook of Industry Dynamics*, pp.C28S1-C28P155, July.
- 細見正樹 「ジョブ・クラフティングの先行要因とその効果」（共著）, 高尾義明・森永雄太編著『ジョブ・クラフティング—仕事の自律的再創造に向けた理論的・実践的アプローチ—』第8章, 白桃書房, 170-194ページ, 3月刊。

〈分担執筆〉

- 細見正樹 「テレワーク下のジョブ・クラフティング」同上書, 第9章, 白桃書房, 195-217ページ, 3月刊。
「個人から捉えた人事労務研究: 心理学の観点から」梅崎修, 江夏幾多郎編著『日本の人事労務研究』第6章, 中央経済社, 137-172ページ, 6月刊。
- 吉田友之 「国際商取引契約とインコタームズ」(一社)国際インターナショナル・フレイト・フォワーダーズ協会編『国際複合輸送業務の手引(第11版)』(一社)国際インターナショナル・フレイト・フォワーダーズ協会, 115-40ページ, 10月刊。

〈論文〉

- 岩崎拓也 “Managerial discretion over initial earnings forecasts”, (co-authored) *Pacific-Basin Finance Journal*, Volume 77, February. 101892.
- 岩本明憲 “The Origin of AIDA: Who Invented and Formulated the AIDA model?”, *Proceedings of 21st Biennial Conference on Historical Analysis & Research in Marketing (CHARM)*, pp.1-18.
- 岡照二 「サステナビリティ会計の構築に向けた社会的費用の内部化」(共著)『関西大学商学論集』第67巻第4号, 関西大学商学会, 1-14ページ, 3月刊。
- 奥和義 「現代国際政治経済における米中の協調と対立—エンゲージメント政策から地政学的競争へ—」『関西大学商学論集』第68巻第2号, 関西大学商学会, 1-17ページ, 9月刊。
- 乙政正太 「会計情報の役割の再確認と会計学研究」『会計』第203巻第1号, 1-14ページ, 1月刊。
- 陰山孔貴 「多様な製品の継続的な開発—製品開発の足場に着目した研究—」『関西大学商学論集』第68巻第1号, 関西大学商学会, 1-20ページ, 6月刊。
「人事評価の基準の設定と変化プロセス—価値評価研究に基づく事例研究—」『関西大学商学論集』第68巻第2号, 関西大学商学会, 19-36ページ, 9月刊。
「第二の製品コンセプト価値の創造—製品開発・市場への定着プロセス—」『関西大学商学論集』第68巻第3号, 関西大学商学会, 1-20ページ, 12月刊。
- 木村麻子 “Preparing for serendipity: an illustrative analysis of participation in the field” (co-authored) *Accounting, Auditing & Accountability Journal*, Emerald Publishing, September.
- 上妻京子 「サステナビリティ報告: 監査の新たな課題」『会計・監査ジャーナル』第35巻第1号, 104-113ページ, 1月刊。
「合理的保証に向かうサステナビリティ報告の保証」『会計』第203巻第5号, 54-68ページ, 5月刊。
「気候関連情報の保証をめぐる国際動向」『企業会計』第75巻第10号, 36-44ページ, 10月刊。
- 齊野純子 「イギリスにおける会計規制改革の概観—財務報告協議会を中心に—」『会計』第204巻第6号, 42-52ページ, 12月刊。

〈論 文〉

- 佐伯靖雄 「ASEAN諸国での自動車部品メガ・サプライヤーの機能配置：日独主要企業の比較分析」『関西大学商学論集』第67巻第4号，関西大学商学会，15-26ページ，3月刊。
- 「中国CATL，BYDはなぜ二次電池市場を席卷できたのか」『機械振興協会経済研究所小論文』No.41，機械振興協会経済研究所，1-4ページ，9月刊。
- 杉本貴志 「『ロッチデール』の半世紀～現代協同組合運動の原則と事業、その最初の50年を振り返る」『くらしと協同』43号，くらしと協同の研究所，53-71ページ，3月刊。
- 「協同組合のアイデンティティと「労働」の問題～協同組合原則改訂と2025国際協同組合年を控えて考えるべきこと」『協同組合研究誌にじ』686号，日本協同組合連携機構，30-39ページ，12月刊。
- 高井啓二 “Model Selection with Missing Data Embedded in Missing-at-Random Data.” (co-authored) *Stats*, 6(2), pp.495-505. <https://doi.org/10.3390/stats6020031>
- 高内一宏 “Downstream new product development and upstream process innovation,” (co-authored) *Journal of Economics*, Vol. 140 issue 3, pp.209-231, December. (SSCI, Web of Science 所収)
- “Consumer-hurting competition in an international upstream market,” (co-authored) Graduate School of Economics, Kobe University Discussion Paper No. 2314, August.
- 「貿易自由化と経済成長率に関する実証的研究」(共著)『関西大学商学論集』第68巻第3号，関西大学商学会，39-56ページ，12月刊。
- 高橋望 「岐路に立つ交通経済論」『関西大学商学論集』第68巻第1号，関西大学商学会，21-41ページ，6月刊。
- 田村香月子 「中小・中堅企業格付の現状と資金調達環境の変化」『年報信用格付研究』第1号，日本信用格付学会，37-52ページ，5月刊。
- 崔相鐵 「カルフルの中国市場撤退の事例分析：商業ネットワーク仮説の提起及び今後の研究課題」(共著)香川大学経済研究所ワーキングペーパーNo.258，1-16ページ，3月刊。
- 「産業集積の持続・変革における商人的変革者の役割：中国徐州市沙集鎮のタオバオ村の事例分析を通して」(共著)『経営学論集(山梨学院大学)』第4号，9-25ページ，3月刊。
- 「伝統的産業集積の変革におけるインターローカリティ戦略：地域完結型産業集積論への批判的考察」(共著)日本商業学会第73回全国大会プロシーディングス，4-13ページ，5月刊。
- 千葉貴宏 「一定期間一定額かつ利用量に制限がない動画配信サービスに対する消費者反応の規定要因の経験的探求」『関西大学商学論集』第68巻第2号，関西大学商学会，37-43ページ，9月刊。
- 辻美枝 「関連者間の国際的資金移転と法人所得課税」『税研』第38巻5号，日本税務研究センター，15-21ページ，1月刊。

〈論 文〉

- 中 蔦 道 靖 「マテリアルフローコスト会計 (MFCA) のサステナビリティ管理会計手法への発展に向けて：原価企画との手法的連携可能性について」(共著)『関西大学商学論集』第67巻第4号, 関西大学商学会, 27-38ページ, 3月刊。
- 「マテリアルフローコスト会計 (MFCA) によるエネルギーロス改善にみるサステナビリティ管理会計手法への発展：企業 (A社) 現地調査をもとに」『関西大学商学論集』第68巻第3号, 関西大学商学会, 21-37ページ, 12月刊。
- 朴 泰 勲 “Combining Product Development and Production Processes for Effective Interorganizational Collaboration and Governance, The Case Analysis of a Korean Car Company” *Kansai University Review of Business and Commerce*, No. 22, pp. 1-22, March.
- 英 邦 広 「貿易自由化と経済成長率に関する実証的研究」(共著)『関西大学商学論集』第68巻第3号, 39-56ページ, 12月刊。
- 馬 場 英 朗 「固定資産台帳の公共施設マネジメントへの活用—吹田市資産経営室の試み」『会計・監査ジャーナル』第816号, 日本公認会計士協会, 121-125ページ, 7月刊。
- 「成果の可視化と非営利活動のミッション—PFS・SIB・休眠預金等活用・社会的投資などの視点から」『非営利法人研究学会誌』第25巻, 非営利法人研究学会, 13-23ページ, 8月刊。
- 原 拓 志 「MAISアプローチによる東海村JCO臨界事故の分析：臨界に至るまで」『関西大学商学論集』第67巻第4号, 関西大学商学会, 59-80ページ, 3月刊。
- 「社会的課題とイノベーション —技術システムの安全を例として—」『日本経営学会誌』第53号 (経営学論集第93集), 日本経営学会, 31-40ページ, 7月刊。
- 深 澤 光 樹 「人口18億人の南アジア—中印の「誘致合戦」に揺れる—」『週刊エコノミスト』4月11・18日合併号, 毎日新聞出版, 30-31ページ, 4月刊。
- 水 野 一 郎 「新しい資本主義と人本主義経営：さくら住宅を事例として」『関西大学商学論集』第68巻第1号, 関西大学商学会, 43-60ページ, 6月刊。
- 宮 下 真 一 「消費財産業のサプライチェーン・マネジメントにおける港湾DXの課題」『関西大学商学論集』第68巻第1号, 関西大学商学会, 61-71ページ, 6月刊。
- 矢 田 勝 俊 “New Frontiers in Artificial Intelligence: JSAI-isAI 2022 Workshop, JURISIN 2022, and JSAI 2022 International Session, Kyoto, Japan, June 12-17, 2022, Revised Selected Papers.” (co-authored) *Springer Nature* 13859, April.
- “New Frontiers in Artificial Intelligence: JSAI-isAI 2021 Workshops, JURISIN, LENLS18, SCIDOCA,” Kansei-AI, AI-BIZ, Yokohama, Japan, November 13-15, 2021, Revised Selected Papers”, (co-authored) *Springer Nature* 13856, July.
- “Sequential classification of customer behavior based on sequence-to-sequence learning with gated-attention neural networks.” (co-authored) *Advances in Data Analysis and Classification*, 17(3), pp549-581 Springer Berlin Heidelberg, September.
- 横 山 恵 子 「NPOの事業承継における創設者シンドローム」(共著)『企業家研究』21, 1-18ページ, 2月刊。【査読あり】

〈論文〉

- 横山 恵子 「ソーシャル・アントレプレナーシップと経営倫理」日本経営倫理学会編『経営倫理入門：サステナビリティ経営をめざして』文真堂, 222-226ページ, 2月刊。
「ソーシャルビジネスとソーシャル・アントレプレナーシップ」『やさしいビジネスレビュー』第2号, 43-51ページ, 3月刊。
“A Study on Management Supporting Employment of Disabled in Japan.” (co-authored) In *Corporate Social Responsibility in a Dynamic Global Environment: Sustainable Management in Challenging Times*, pp. 47-63, Cham: Springer International Publishing, April. 【査読あり】
- 吉田 友之 「香川県所在貿易業者が使用するトレード・タームズに関する時系列考察—2019年アンケート調査の追加版—」『関西大学商学論集』第68巻第2号, 関西大学商学会, 45-60ページ, 9月刊。
- 李 振 “Handling missing values and imbalanced classes in machine learning to predict consumer preference: Demonstrations and comparisons to prominent methods,” (co-authored) *Expert Systems with Applications*, 237, 121694, 2024.
“Promoting eco-friendly advertising on social media: The fit between appeals and tie strength,” (co-authored) *International Journal of Advertising*, online first, 1-29, 2023.

〈研究ノート〉

- 笹倉 淳史 「収益認識基準の変更について 取引実態の開示—代理人か本人かの判断の重要性」『大阪簿記会計学協会創立60周年記念誌 60周年を迎えて』4-5ページ, 大阪簿記会計学協会, 9月刊。
- 吉田 友之 「輸出取引の仕組み17—貿易取引に関する本論—」『OITA Trade & Views』第143号, ジェトロ大分貿易情報センター・(一社)大分県貿易協会, 1-2ページ, 2月刊。
「輸出取引の仕組み18—貿易取引に関する本論—」『OITA Trade & Views』第144号, ジェトロ大分貿易情報センター・(一社)大分県貿易協会, 1-2ページ, 5月刊。
「輸出取引の仕組み19—貿易取引に関する本論—」『OITA Trade & Views』第145号, ジェトロ大分貿易情報センター・(一社)大分県貿易協会, 1-2ページ, 8月刊。
「輸出取引の仕組み20—貿易取引に関する本論—」『OITA Trade & Views』第146号, ジェトロ大分貿易情報センター・(一社)大分県貿易協会, 1-2ページ, 11月刊。

〈資料・その他〉

- 荒木 孝治 「『文化に関する世論調査』の詳細分析」(共著)『令和4年度 文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業 文化統計の体系化に関する調査・研究 報告書』第2章, 7-68ページ, 3月刊。

〈資料・その他〉

- 石田和之 「地方税制温故知新(第135回)住民税均等割の沿革(下)」1月号, ぎょうせい, 228-242ページ, 1月刊。
「地方税制温故知新(第136回)固定資産税における宅地等の負担調整措置の経緯」2月号, ぎょうせい, 357-373ページ, 2月刊。
「地方税制温故知新(第137回)個人住民税における扶養控除の沿革(上)」3月号, ぎょうせい, 222-237ページ, 3月刊。
「<巻頭言税制鳥観図>住民税のこれからのあり方」『税』4月号, ぎょうせい, 2-3ページ, 4月刊。
「地方税制温故知新(第138回)個人住民税における扶養控除の沿革(下)」4月号, ぎょうせい, 337-352ページ, 4月刊。
「地方税制温故知新(第139回)土地建物等の長期譲渡所得に係る個人住民税の税率:昭和期」5月号, ぎょうせい, 275-291ページ, 5月刊。
「地方税制温故知新(第140回)土地建物等の長期譲渡所得課税における特別控除制度の沿革」6月号, ぎょうせい, 214-229ページ, 6月刊。
「<特集>法定外税の現在地とこれから1 法定外税の概要と変遷」『税』7月号, ぎょうせい, 10-22ページ, 7月刊。
「地方税制温故知新(第141回)個人住民税の合計所得金額」7月号, ぎょうせい, 256-269ページ, 7月刊。
「地方税制温故知新(第142回)住民税における納税義務者の規定」8月号, ぎょうせい, 204-219ページ, 8月刊。
- 太田浩司 「私の履歴書を読む」『企業会計』第75巻第4号, 64-67ページ, 4月刊。
- 乙政正太 「日本会計研究学会第81回大会記 統一論題報告および討論 第一会場(2) 討論」『会計』第203巻第4号, 85-86ページ, 4月刊。
- 木村麻子 「青果業D社の事例 ―経営者と臨床家による組織変革―(佐々木郁子・横田絵理・セルメス鈴木寛之)『管理会計の理論と実践を架橋する臨床知に関する研究』第3章, 日本会計研究学会特別委員会 中間報告, 46-55ページ, 8月刊。
「会計臨床家による経営支援ツールの開発プロセス」(李燕・藤野雅史)『管理会計の理論と実践を架橋する臨床知に関する研究』第3章, 日本会計研究学会特別委員会 中間報告, 85-95ページ, 8月刊。
- 佐伯靖雄 『市内企業・法人の動向分析等にかかる調査・研究 成果報告書(茨木市受託研究)』立命館大学OIC総合研究機構地域情報研究所, 1-94ページ, 3月刊。
「北部九州地域での自動車産業の形成過程と到達点」『北部九州・巨大分工場型経済圏における自動車産業の持続的成長(機械振興協会経済研究所 調査研究報告書)』JSPMI-ERI 22-5, 機械振興協会経済研究所, 1-11ページ, 3月刊。
- 杉本貴志 「活字と教養の危機」『研究所ニュース』81号, 非営利・協同総合研究所のちとくらし, 6-8ページ, 2月刊。
「会長就任にあたって―2025国際協同組合年を控え、学会の国際性をさらに高めるために」『Newsletter』99号, 日本協同組合学会, 1-2ページ, 12月刊。
- 高橋望 「未完の規制緩和」『KANSAI空港レビュー』No.536, 関西空港調査会, 1ページ, 7月刊。

〈資料・その他〉

- 田中孝憲 「Split bond ratings: evidence from local rating agencies in Japan」『Working Paper』No.43, 関西大学商学会, 8月刊。
- 崔相鐵 「シリーズ/マーケティング的思考のすすめPart②⑥: DX (デジタルトランスフォーメーション)ブームの時代をどう乗り越えるか」『架け橋』在日韓国商工会議所, 第162号, 38-40ページ, 1月刊。
「日本市場進出におけるKフードの過当競争について」『ECONOMY Chosun』第439号, 52ページ, 4月刊。
- 辻美枝 「租税判例速報 外国子会社合算税制の非関連者基準該当性: 日産自動車事件 [東京地判令和4.1.20]」『ジュリスト』1579号, 10-11ページ, 1月刊。
「富裕層はつらいよ!? : 資産と租税」『法学セミナー』第68巻9号, 日本評論社, 29-34ページ, 9月刊。
- 徳永昌弘 「スムータ《動乱》時代のロシア・ユーラシア: 日ロ経済協力の視点から」『セミナー年報 2022』関西大学経済・政治研究所, 323-329ページ, 3月刊。
「脱ロシアは脱炭素か?」『ポストーク』第55号, ロシア極東研, 2-5ページ, 10月刊。
「中央アジアにおけるビジネス言語としてのロシア語: ウズベキスタンに焦点を当てて」『日本中央アジア学会報』第19号, 日本中央アジア学会, 41-43ページ, 7月刊。
- 中 道 靖 「マテリアルフローコスト会計」稲葉敦編著『基礎から学ぶLCA LCAの実施と活用』LCA推進機構, 74-75ページ, 6月15日。
- 中 邑 光 男 「『決勝戦』はfinalかfinalsか」『英語教育』Question Box, Vol. 71 No. 11, 66-67ページ, 大修館書店, 1月刊。
「on the basis of...のofについて」『英語教育』Question Box, Vol. 71 No. 13, 61-62ページ, 大修館書店, 3月刊。
「『彼は後ろ手でドアを閉めた』はHe closed the door behind him.か」『英語教育』Question Box, Vol. 72 No. 3, 68-69ページ, 大修館書店, 6月刊。
「エクササイズ動画で使われているbring it upは何を意味するのか」『英語教育』Question Box, Vol. 72 No. 4, 58-59ページ, 大修館書店, 7月刊。
「permanentに『長期持続する[変わらない]』という意味があるのか」『英語教育』Question Box, Vol. 72 No. 5, 68-70ページ, 大修館書店, 8月刊。
「look him in the eyeかlook him in the eyesか」『英語教育』Question Box, Vol. 72 No. 8, 58-59ページ, 大修館書店, 10月刊。
「have leaden feetとhave a light foot」『英語教育』Question Box, Vol. 72 No. 9, 67-69ページ, 大修館書店, 11月刊。
「What do you think about...?とHow do you think about...?」『英語教育』Question Box, Vol. 72 No. 10, 67-68ページ, 大修館書店, 12月刊。
- 馬場英朗 「非営利用語集『インパクト』」『公益・一般法人』第1080号, 全国公益法人協会, 43ページ, 11月刊。
- 水野一郎 「追悼文: 吉田寛先生との出会いと思い出」『公会計研究』第24巻第1号, 国際公会計学会, 107-108ページ, 9月刊。

〈資料・その他〉

- 吉田友之 「2023年度春季貿易実務セミナー（輸出入編）」テキスト，大阪商工会議所，1-46ページ，6月刊。
- 「2023年度春季貿易実務セミナー（資料編）」テキスト，大阪商工会議所，1-30ページ，6月刊。
- 「インコタームズ2020を理解する」テキスト，2023年度貿易実務セミナー，大阪商工会議所，1-30ページ，8月刊。
- 「インコタームズ2020を理解する」資料，2023年度貿易実務セミナー，大阪商工会議所，1-7ページ，8月刊。
- 「国際商取引契約とINCOTERMS」『2023年度国際複合輸送士資格認定講座用テキスト（東京・大阪開催）』，（一社）国際フレイトフォワードーズ協会，1-30ページ，10月刊。
- 「2023年度秋季貿易実務セミナー（輸出入編）」テキスト，大阪商工会議所，1-46ページ，11月刊。
- 「2023年度秋季貿易実務セミナー（資料編）」テキスト，大阪商工会議所，1-30ページ，11月刊。

〈翻訳〉

- 高井啓二 G.W. インベンス，D.B. ルービン著．星野崇宏，繁樹算男監修「統計的因果推論」（下）第18章「マッチング推定量」朝倉書店，419-457ページ，7月刊。

〈書評〉

- 杉本貴志 中嶋洋平著『社会主義前夜—サン＝シモン、オーウェン、フーリエ』（筑摩書房、2022年）『くらしと協同』43号，くらしと協同の研究所，51-52ページ，3月刊。
- 原拓志 デニス・トゥーリツシュ著 佐藤郁哉訳『経営学の危機—詐術・欺瞞・無意味な研究—』（白桃書房，2022年）『企業家研究』第22号，企業家研究フォーラム，82-84ページ，7月刊。
- 細見正樹 高橋潔・加藤俊彦編著『リモートワークを科学する 〈1〉調査分析編／〈2〉事例編』（白桃書房，2022）『日本労働研究雑誌』労働政策研究・研修機構，No.754，103-104ページ，4月刊。

〈学会・研究会〉

- 飴野仁子 「ETC2.0走行データを用いた鉄道モダリティシフト推進の検討」（共同報告）日本物流学会第40回全国大会，流通経済大学，9月16日。
- 岩崎拓也 「『経営者能力と会計保守主義』に対する討論」日本経営財務学会第47回全国大会，京都大学，9月24日。
- 「『製品市場競争と経営者報酬—日本企業を用いた実証分析—』に対する討論」日本経済会計学会第4回秋季大会，北九州市立大学，12月16日。
- 岩本明憲 “The Origin of AIDA: Who Invented and Formulated the AIDA model?” on 21st Conference on Historical Analysis and Research in Marketing, Duke University, June 3.

〈学会・研究会〉

- 石田和之 「個人住民税の現年課税化をめぐる議論」千里山会計学研究会，関西大学千里山キャンパス，5月13日。
 “The Determinants of Japanese Local Government Employee Compensation,” (co-authored) 2023 Korean Public Administration International Conference, Daechong Paros, Chungnam Boryeong, Korea, June 23.
- 太田浩司 「女性役員と利益情報の価値関連性」黄耀偉氏報告のディスカッサント，日本会計研究学会第82回全国大会統一論題，大阪公立大学，オンライン開催，9月2日。
 自由論題報告第2会場で司会，日本経済会計学会第4回秋季大会，北九州市立大学，12月16日。
- 岡照二 「環境会計からサステナビリティ会計への展開」第109回千里山会計学研究会，関西大学，オンライン開催，1月28日。
 「サステナビリティ会計における社会的コストマネジメントの展開」（共同報告）日本原価計算研究学会第49回全国大会，福岡大学，9月6日。
- 岡本真由美 「使用言語はビジネスパーソンのコミュニケーションスタイルに影響を与えるのか—言語・非言語の観点から」国際ビジネスコミュニケーション学会，中央大学，10月14日。
- 陰山孔貴 「多様な製品の継続的な開発—製品開発の足場に着目した事例研究—」日本経営学会関西部会，桃山学院大学，5月20日。
- 岸谷和広 “Retail Development along with Mobile Payment Methods”, (co-authored) 2023 SEIGOP Conference, James Cook University Singapore (Singapore), March 3.
- 木村麻子 「楯の川酒造と地域エコ・コントロール・システム」2022年度日本原価計算研究学会 産学連携コストフォーラム，オンライン開催，3月19日。
 “A journey for creating a new world of ‘return for social impact’ in the world of ‘return on investment’: The agents’ modes of reflexivity and the structural power of ‘return’ European Network for Research in Organisational & Accounting”, (co-authored) Mälardalen University, Sweden, June 14.
 「戦略レベルでの統合思考の推移とその規定要因」日本管理会計学会2023年度第1回りサーチセミナー，（共同報告）近畿大学，6月24日。
 「戦略レベルでの統合思考の推移とその規定要因」日本社会関連会計学会，第35回東日本大会，（共同報告）近畿大学，7月6日。
 第一論題「『新しい資本主義』と会計研究」報告2〔循環経済〕「サーキュラエコノミー情報開示の現状」（報告者：北田皓嗣），ディスカッサント，日本会計研究学会第82回全国大会，大阪公立大学，9月2日。
 “Accounting for the hybridisation of social and economic benefit: A critical realist analysis of a case for developing social business”, 2023年度ブリストル・京都ワークショップ「第7回定性研究のためのワークショップ」, University of Bristol, 9月19日。
 「ESG志向の非財務指標による業績評価の展望」会計大学院協会主催 早稲田大学大学院会計研究科共催 シンポジウム 非財務尺度の会計と管理，早稲田大学，11月25日。

〈学会・研究会〉

- 木村麻子 「会計学領域におけるSDGs関連の諸外国での研究動向とそれらの海外の大学教育現場での導入状況についての調査（テキストマイニング・アクティブリーディング活用例）」（報告者：小泉友香），討論者，2023年度第2回リサーチセミナー，オンライン開催，12月9日。
グリーン・アントレプレナーシップ研究寄附講座設立記念シンポジウム/グリーン・アントレプレナーシップ～未来への挑戦～，パネリスト，京都大学，12月17日。
“Counterparties' Reaction to the Establishment of Audit Committees in Japan”，(Kunchih Chen and Yu-an Lin), The 14th International Conference of THE JAPANESE ACCOUNTING REVIEW, Kobe University, December 23.
- 上妻京子 「合理的保証に向かうサステナビリティ報告の保証」日本監査研究学会第4回西日本部会統一論題報告，日本公認会計士協会近畿会，7月1日。
「サステナビリティ情報保証」日本会計研究学会第82回大会統一論題報告ディスカスタント，大阪公立大学，オンライン開催，9月2日。
- 佐伯靖雄 「ASEAN自動車産業における日独メガ・サプライヤーの機能配置についての考察」アジア経営学会西部部会，大阪工業大学，4月22日。
「xEV（電動車）市場の急拡大とその促進要因についての一考察」第61回産業学会全国大会，西南学院大学，6月17日。
「タイにおけるマツダの部品調達網構築：オーラルヒストリー・アプローチ」（共同報告）工業経営研究学会 第38回全国大会，九州産業大学，8月30日。
- 杉本貴志 「社会的連帯経済を構成する諸組織について」非営利・協同総合研究所いのちとくらし 社会的連帯経済第14回研究会，オンライン開催，9月23日。
“Impact of Rochdale Pioneers on Japanese Co-operative Movement: From the 19th Century to the Present”，2023 Autumn Conference of Korean Society for Co-operative Studies, SMEs DMC Tower, Seoul, November 10.
- 高内一宏 “Consumer-hurting competition in an international upstream market” 日本国際経済学会第82回全国大会，明治大学駿河台キャンパス，10月15日。
- 高屋定美 「欧州グリーンディールと金融機関の役割」日本金融学会2023年度全国大会秋季大会，共通論題，九州大学，10月1日。
- 田中孝憲 “Split bond ratings: evidence from the reputations of rating agencies” 日本金融学会春季大会，一橋大学，5月14日。
「機関投資家をモニタリングすることで、取締役会のジェンダーダイバーシティは向上するのか？？ステュワードシップコードの影響？」崔真淑報告，（討論者）日本経営財務研究学会東日本部会，東洋大学，7月15日。
“Split bond ratings: evidence from the reputations of rating agencies” 日本経営財務研究学会，京都大学，9月23日。
- 崔相鐵 「ポストコロナ時代における新たなマーケティング戦略の勧め」第11期東アジア経営塾，三宮センタープラザ西館，2月15日。
「伝統的産業集積の変革におけるインターローカリティ戦略：地域完結型産業集積論への批判的考察」（共同報告）日本商業学会第73回全国大会，5月28日。

〈学会・研究会〉

- 崔 相 鐵 「日本市場の地域主義的特性」韓国中央大学東北亜開発協力研究所国際学術セミナー、オンライン開催、12月23日。
- 辻 美 枝 「英国の相続税改革—信託を中心に—」第145回関大租税法研究会、関西大学梅田キャンパス、2月26日。
「GloBEルールの内国法への影響—EUの現状分析を中心に—」第146回関大租税法研究会、広島大学東広島キャンパス、3月29日。
「富裕層の納税意識と資産・所得課税」第149回関大租税法研究会、関西大学梅田キャンパス、6月18日。
「GloBEルールの内国法化に向けたEUの動向」第45回租税論研究会、京都大学吉田キャンパス、オンライン開催、7月27日。
「英国における生命保険信託の課税」第151回関大租税法研究会、関西大学梅田キャンパス、8月17日。
「EUにおけるGloBEルールの受容—ドイツでの国内法化を中心に—」第48回租税論研究会、京都大学吉田キャンパス、オンライン開催、12月22日。
「ドイツにおけるIIRの内国法化とCFC税制への影響」第155回関大租税法研究会・第52回立命館大学税財政研究会、立命館大学梅田キャンパス、12月26日。
- 徳 永 昌 弘 “Arctic LNG Business in Russia: Retreat or Resume?”, Seventh International Symposium on Arctic Research (ISAR-7), National Institute of Polar Research, March 8.
「中央アジアにおけるビジネス言語としてのロシア語：ウズベキスタンに焦点を当てて」日本中央アジア学会2022年度年次大会、日本貿易振興機構アジア経済研究所、3月19日。
「増幅する北極資源開発パラドクス：アーктиックLNG 2を中心に」ロシア・東欧学会2023年度研究大会、京都大学、11月5日。
- 中 寛 道 靖 「原価企画における見積原価の正確性について」（共同報告）日本原価計算研究学会第49回全国大会、福岡大学、9月7日。
- 中 邑 光 男 「辞書編纂におけるコーパス利用の現状と今後の展望」英語コーパス学会第49回大会（30周年記念大会）シンポジウム、関西大学、9月9日。
- 西 村 成 弘 “Foreigners’ patents and the Japanese patent system: an analysis of duration and enforcement of patent rights, 1899-1920”, 48th Economic and Business History Society Conference, Porto, Portugal, May 27.
「近代日本の工業化における外国技術導入のインパクト—特許の存続期間による分析—」経営史学会第59回全国大会、熊本学園大学、12月2日。
- 朴 泰 勲 「日本自動車企業の電動化戦略」インアジアフォーラム、韓国貿易振興公社大阪貿易館、6月23日。
“Science Research and Technology Development for Ambidexterity in European Automobile Industry”韓国貿易学会、韓国全州市全北大学国際コンベンションセンター、8月22-24日。
- 馬 場 英 朗 「リスク・リターンから『インパクト』に基づいた意思決定—インパクト加重会計の可能性」千里山会計学研究会、関西大学、10月7日。

〈学会・研究会〉

- 英 邦 広 「リーマン・ショックとコロナ・ショック下の株価の反応」日本金融学会秋季全国大会, 九州大学, 9月30日。
- 原 拓 志 “Inter-organizational Relationship and Railway Safety”, The 23rd Biennial Conference of the Society for Philosophy and Technology (SPT2023), National Olympics Memorial Youth Center (NYC), Tokyo, June 8.
- 藤 岡 里 圭 “Retail Development along with Mobile Payment Methods”, (co-authored) 2023 SEIGOP Conference, James Cook University Singapore (Singapore), March 3.
 “Women Designers’ Contribution to the Creation of the Japanese Apparel Industry”, Seminar, Western Washington University (US), May 1.
 “Women Designers: Contribution to the Creation of Japanese Apparel Industry”, European Business History Association, BI (Norway), August 26.
- 細 見 正 樹 「在宅勤務における孤立感の先行要因」日本労務学会第53回年次大会, 近畿大学, 6月18日。
 「管理職の行動とテレワークの影響に対する認識—職務妨害理論の観点から—」(共同発表), 2023年度組織学会研究発表大会, 6月25日。
 「在宅におけるジョブ・クラフティングがパフォーマンスとキャリア満足度に与える効果」日本経営学会第97回大会, 9月6日。
- 水 野 一 郎 「付加価値会計再論—新しい資本主義との関わりの中で—」AW21・AR9合同研究会, 福岡大学中央図書館1階ホール, 1月21日。
 「東海バネ工業のビジネスモデルについて」日本会計研究学会スタディグループ第2回研究会, 関西大学千里山キャンパス, 12月16日。
 「新しい資本主義と人本主義経営会計」日本管理会計学会2023年度年次全国大会, 東北工業大学八木山キャンパス, 8月29日。
 「近年の日本企業における目標管理・成果主義に関する一考察」松村勝弘氏の報告に対するコメント, 追手門学院大学茨木総持寺キャンパス, 11月11日。
- 村 上 啓 介 「大規模なクラスタ編集問題に対するヒューリスティック解法」日本オペレーションズ・リサーチ学会2023年秋季研究発表会, 関西学院大学(西宮上ヶ原キャンパス), 9月15日。
- 横 山 恵 子 「協働によるソーシャル・アントレプレナーシップ」第18回コレクティブ・インパクト研究会, 有馬温泉古泉閣, 3月29日。
 「NPOの事業承継」(共同報告)日本NPO学会第25回研究大会, 京都産業大学, 6月10日。
 “Social Entrepreneurship through Collaboration A Case Study on Sustainable and Inclusive Social Business Development in Japan”, (co-authored) The 9th International Conference on CSR, Sustainability, Ethics & Governance, Faculty of Economics and Business, University of Cantabria, June 15.
 「高校生のアントレプレナーシップ教育と能力開発モデル: 実践共同体におけるサードプレイスと越境学習」(共同報告)組織学会研究発表大会, 京都産業大学, 6月25日。

〈学会・研究会〉

- 横山 恵子 “Creating Social Business in a Japanese Department Store”, (co-authored) The 10th International Conference on Social Responsibility, Ethics and Sustainable Business, Bucharest University of Economic Studies, September 14.
 “An Exploratory Study on the Conditions for Eliminating or Mitigating Founder’s Syndrome in Nonprofit Organizations”, (co-authored), ARNOVA’s 52nd Annual Conference, Orlando, November 16.
 「コレクティブ・インパクトの現在知」（共同報告）セッション I, 日本ベンチャー学会第26回全国大会, 東北大学, オンライン開催, 12月9日。
- 李 振 “Mapping the In-feed Native Advertising Research: A Bibliometric Review and Directions for Future Research,” 2023 Global Marketing Conference, Korea, July 21.

〈講演会〉

- 飴野 仁子 「グローバルサプライチェーンの強靱化に向けた日本の海上コンテナ輸送と国際物流の課題」（公財）日本海事センター主催, 第6回JMC海事振興セミナー「グローバルサプライチェーンの強靱化に向けた国際海運・物流の課題と将来展望」（公財）日本海事センター, 5月10日。
- 荒木 孝治 「組織におけるAIの活用—生成AIというゲームチェンジャー」日本品質管理学会関西支部第133回研究発表会, 関西大学, 9月8日。
 「デミング賞とは」「デミング賞審査委員会委員長まとめ」デミング賞受賞報告講演会, 経団連会館, 11月8日。
- 石田 和之 「地方公共団体における行財政評価・政策評価の現状と限界」関西大学経済・政治研究所産業セミナー, 関西大学梅田キャンパス, 7月15日。
- 岡 照二 「会計学から『自然資本』を考える。」大阪簿記会計学協会総会, 大阪商工会議所, 7月1日。
 「企業のSDGs経営を支援する会計システムについて考える」2023年度関西大学SDGsパートナー交流会, 関西大学梅田キャンパス, 9月29日。
 「カーボンニュートラル達成に向けて会計学ができること」第52回生涯学習吹田市民大学 関西大学講座（後期）, 千里市民センター, 12月15日。
- 上妻 京子 「サステナビリティ報告：開示と監査・保証の最新動向」日本公認会計士協会関西地区三会共催研修会, 日本公認会計士協会近畿会, 3月22日。
 「サステナビリティ情報開示・保証の国際動向と日本の課題」日本公認会計士協会東京会研修会, 日本公認会計士協会, 11月17日。
- 佐伯 靖雄 「次世代自動車市場を席卷する米中企業と躊躇する日本企業」自動車産業研究フォーラム2023年5月例会, 勝永六番町ビル1階会議室, 5月19日。
 「急成長するxEV（電動車）市場の企業戦略」線材製品協会 2023年度第1回需要開拓講演会, Webセミナー, 8月3日。
 「地域自動車産業集積の共通課題と競争力：北部九州と東北中部の比較から」九州経済調査協会・機械振興協会・北部九州自動車産業グリーン先進拠点推進会議共催シンポジウム2023, 九州経済調査協会, 10月16日。

〈講演会〉

- 佐伯靖雄 「『テスラの事業戦略』を大研究」【Season2】中西孝樹の自動車・モビリティ産業インサイトvol.5, オンラインセミナー, 10月20日。
「Tesla Driving the xEV Market and Japanese Companies Lagging Behind」(一財)海外産業人材育成協会2023年度電気自動車業界最新潮流研修①EV市場の競争環境分析, AOTS東京研修センター, 11月13日。
- 杉本貴志 「協同組合の歴史とヨーロッパの生協、そして日本の生協運動に思うこと」地域と協同の研究センター第8期組合員理事ゼミナール第5回, コープあいち生協生活文化会館, 3月3日。
「協同組合の理念と原則」生協の役割と今後への期待」コープ九州事業連合2023年度次世代リーダー育成学校 第1回, 博多バスターミナル, 6月8日。
「協同組合史1 生協の母国イギリスの生協運動から学ぶ『協同組合の理念と原則』」
「協同組合史2 日本の生協運動の歴史と現状から考える『生協の役割と生協職員の課題』」地域と協同の研究センター 第9期 協同の未来塾 第1回, 名古屋都市センター, オンライン開催, 6月30日。
「協同組合の歴史と日本の生協運動への期待」地域と協同の研究センター第15期
「共同購入手業マイスターコース」第2回, コープあいち生協生活文化会館, 8月26日。
「協同組合・NPOの連携で持続可能な地域社会を」労働者福祉中部協議会2023年度研究集会, 大阪キャッスルホテル, 10月10日。
「生活協同組合と組合員理事の役割」エフコープ生活協同組合2023年度第1回組合員理事ゼミナール, 博多バスターミナル, 10月30日。
「コミュニティに立脚した新たな協同組合のあり方を考える」全国保険医協同組合連絡会, 大阪府保険医協同組合会館, オンライン開催, 11月18日。
「こくみん共済COOPに見る協同組合～協同組合組織が目指すべき姿を考える」こくみん共済COOP中部統括本部 新任代表委員研修会, 全労済愛知推進本部アビタン2階大ホール, 12月5日。
- 崔相鐵 「日本市場の特徴と韓国への示唆点：韓日地域間交流拡大を望む」韓国金融研修院・最高経営者課程大阪ワークショップ, TKPガーデンシティープレミアム心齋橋, 5月11日。
「ポストコロナ時代における日本市場の再理解：ローカルティの問題点と可能性」韓国延世大学・経営専門大学院AMP93期日本セミナー, ニューオータニ大阪, 5月19日。
- 辻美枝 「生命保険をめぐる課税上の諸問題」全国女性税理士連盟西日本支部兵庫ブロック, ザマカススクエア神戸, オンライン開催, 1月28日。
「裁判例からみる財産移転をめぐる課税問題」近畿税理士会宮津支部, 与謝野町商工会館, 12月1日。
「裁判例からみる損金該当性」近畿税理士会天王寺支部, たかつガーデン, 12月5日。
- 西村成弘 「明治後期大阪の企業家と工業所有権制度—特許の価値による分析—」関西大学経済・政治研究所第258回産業セミナー, 関西大学梅田キャンパス, 7月19日。

〈講演会〉

- 藤岡里圭 「小売業はこれからどう変わる？」がくげいラボ×Talkin' About vol.25, 学芸出版社, 7月18日。
- 細見正樹 「仕事と研究の両立」経営行動科学学会第26回年次大会, 東京都立大学, 10月15日。
- 水野一郎 「新しい資本主義と付加価値会計」日本社会関連会計学会西日本部会, 関西大学梅田キャンパス, 7月15日。
- 横山恵子 「CI実践と魅力的なストーリー」コレクティブ・インパクト勉強会, KUMON丸の内オフィス, 9月26日。
- 李振 「『経営学の危機』を超えて<2>: AIが切り開く経営学研究の可能性」2024年度組織学会年次大会, 関西大学千里山キャンパス, 10月29日。

